



演説用

世界経済が抱える三つの課題  
持続可能な開発に関するハイレベルフォーラム演説

クリスティーヌ・ラガルド  
国際通貨基金 専務理事

2013年9月24日 国際連合（ニューヨーク）

大統領、事務総長はじめご列席の皆様、

本日我々がここにこうして集っている理由は、世界の持続可能な開発を支援するために国際社会として採るべき行動について合意に至るために他なりません。

我々には、21世紀の世界経済に相応しい21世紀の政策が必要です。言うなれば我々には、これまでにない創造性を発揮し一体となり連携することが求められているのです。

何故でしょうか。なぜならば我々が住まう地球は、経済の不安定性、環境被害、そして不十分な社会正義に起因する三つの課題に直面しているからです。我々は、これらを別個のものとして考えることはできません。これら要素はそれぞれが互いに影響しあい強めあっています。

ですから、我々はこれらの問題に同時にまとめて対処しなければなりません。では、どのように対処するか。その優先事項は、(i) 正しい経済基盤を構築する、(ii) グリーン経済の価格を適切に設定する、そして (iii) 社会正義を追求するという3点だと言えます。

では第一のポイントである、「正しい経済基盤を構築する」からお話します。

基盤なくしては、最初からレースは終わっているようなものであることは、皆様ご存知の通りです。持続可能な開発とはマクロ経済の安定から始まります。

今からちょうど5年前、リーマン・ブラザーズの破綻は、世界経済を混乱に陥れました。ここ50年間を振り返っても前例のない落ち込みだったと言えます。現在我々は、徐々にではありますが確実に回復軌道にあります。しかしまだ完全に回復したとはいえません。

完全な回復を実現するという事は、あらゆる政策を講じるということです。すなわち、金融政策と財政政策を用いることで回復の舵をとり、金融部門の改革を行い、特に若者のために雇用創出と成長をさらに高めるための障壁を打ち砕くということです。

IMFは、我々の全パートナーと協働し、この課題にコミットしています。そして、IMFの188加盟国とともに課題の達成に向け取り組みを進めています。

**次に第二のポイントである「グリーン経済の価格を適切に設定する」についてお話しします。**

我々が成長軌道に回帰する必要があることは言うまでもありません。しかし、その道は過去と比較してはるかに優れたものでなければなりません。間違った経済成長は環境を破壊しかねず、環境の悪化は経済に損害を与えかねない。これは誰もが知るところです。

ここで間違っていないのは、どこの国よりも早く甚大な被害を受けるのは最も貧しい国であるということです。我々の友人である世界銀行によりますと、サブサハラ・アフリカ（サハラ以南アフリカ）で現在トウモロコシの栽培に使われている土地の40%が、2030年代に入るまえにこれに適した土地ではなくなるということです。経済、食料安全保障、そして人々の生活に劇的な変化をもたらします。

ですから、我々が与える損害は、我々が支払う価格に反映されていなければなりません。

IMFは環境専門の組織ではありません。しかし、この点においても貢献することができます。どのような貢献が可能か。一つの例として、曖昧で複雑に絡み合ったエネルギー補助金に目を向けることができます。エネルギー補助金の規模は極めて大きく、しかも最もこれを必要としていない人々を支援しているのです。2011年、税

補助金を含むこうした補助金の総額は2兆ドルと、驚くことに世界のGDPの2.5%に相当する規模であり、これらはより賢明に使うことができるであろう額なのです。

このエネルギー補助金という問題だけをとっても、これに対し措置を講じるならば、予算にも、経済にも、そして地球にも良い結果をもたらすものと考えられるのです。

### **第三のポイントである「より公正な成長を目指す」についてお話いたします。**

エコノミストは余りにも長い間、成長のみを対象とし、その分配に目を向けることがありませんでした。IMFのリーサーチも基に、我々は所得のより均衡ある分配が、一段と持続的な成長及び経済の安定性の向上につながるとはっきり認識するに至っています。

鍵となるのは、経済生活により多くの人々を含める一すなわち、全ての人々が繁栄を分かち合い、自らの可能性を十分に発揮することができるようにするという事です。我々の中から極度の貧困という悲劇を撲滅するための取り組みを強化することが、我々の火急の課題です。世界中で2030年までに極度の貧困を根絶するという目標を、私は全面的に支持いたします。

また、我々の喫緊の課題として、教室、労働力、そして重役会議室においても男女平等を一段と進めるべく取り組みを進めています。時代遅れの障壁と思考により女性が疎外されるというケースがあまりにも頻繁に見られます。その結果、社会全体が落ち込んでいます。女性の貢献を退けることで、一部地域では1人当たりの国民所得が27%も減少し生活の質が低下しているという結果になっています。

変化すべき時が訪れたのです。

\*\*\*

最後となりました。我々が今日直面している三つの課題の解決には、より強力なコミットメントと連携の深化が不可欠です。このフォーラムを「今」行動する機会にしようではありませんか。

ご清聴ありがとうございました。